

不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】R6.7.31

(文責 大子町立大子中学校長 益子 直之)

学校は児童生徒にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、児童にとって安全・安心な場所であってはなりません。私たち教職員は、教育活動は、児童生徒や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事としてとらえ、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1 令和6年度コンプライアンス研修年間計画

大子中学校コンプライアンス推進委員会

期日	内容	担当	期日	内容	担当
4月27日	「今年度の研修計画」	教頭	9月30日	☆グループワーク「個人情報」	担当
5月20日	☆グループワーク「体罰の根絶」	担当	10月21日	☆グループワーク「ハラスメント」	担当
6月17日	☆グループワーク「交通安全の遵守」	担当	10月24日	外部講師を招いた接遇研修会②	教頭
7月8日	☆グループワーク「飲酒運転」	担当	11月18日	☆グループワーク「ハラスメント」	担当
7月24日	☆グループワーク「会計処理」	担当	12月22日	☆グループワーク「飲酒運転」	担当
8月21日	外部講師を招いた接遇研修会①	教頭	2月17日	「データ管理・引継について」	教頭

2 不祥事ゼロに向けた研修の様子 (7/23 実施)



3 研修資料

One IBARAKI 第15号 等各校で

⇒URL <https://www.daigo.ed.jp/page/dir000009.html> (本校ホームページ掲載)

4 教職員の意見等

- ・正直、とても迷惑な行為だ。一生懸命に頑張っている先生がたくさんいるなか、不祥事が起きると”教職員全体が問題だ”というイメージになる。だからこそ、やってはいけない。
- ・自分は大丈夫ではなく、常に意識することが大事である。
- ・「ダメだと分かっているけどやってしまうことがある」ことを理解し、自分事として捉えることが大切である。

5 対策内容 (飲酒、わいせつ、盗撮等の本校のきまり)

- ・生徒と一対一で周りから見えないようなところに行かないようにする
- ・トイレ、更衣室等に、基本的に物を置かないようにする。
- ・お酒を飲む機会がある時には車で行かない。車の場合は手段を管理職や周りの教員に報告。
- ・私的なメールや電話のやりとりはしない。